



SWEETS

サイエンス・カフェでは、季節やその日のテーマに合わせた手作りのお菓子をお出ししています。

里山で採れる木の实やハーブなどを使い、里山ラボならではの、ここでしか味わえないスイーツをお楽しみいただけます。また、シフォンケーキの材料に夢工房さんの「夢米粉」を使用するなど、地元企業の材料を積極的に使うことも心がけています。

2013 年度

2013.6.9.

「虫の眼から見た世界」
「てんとうむしが遊ぶ里山」

夢米粉のシフォンに、里山で採れたクワの実とミント、チョコレートで作ったてんとう虫を添えて。



9.8. (放射能)
「初秋の里山」

夢米粉のシフォンに、里山で採れたナツハゼの実、秋のフルーツ（葡萄・梨・まくわ瓜）とチョコレート細工を添えて。

日付. (その日のテーマ)

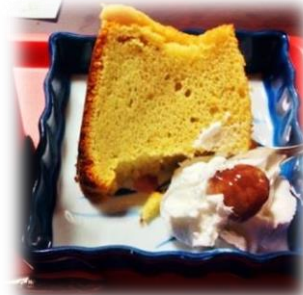
「お菓子の名前」

お菓子の説明

10.13. (熱環境)

「秋の里山」

里山で採れた柴栗をペーストにして練り込んだ夢米粉のシフォンに、同じ柴栗の渋皮煮を添えて。



11.10. (ジャコウアゲハ)

「ジャコウアゲハが
飛び交う里山」

夢米粉のシフォンに、紅玉林檜のコンポート、チョコレートで作ったジャコウアゲハを添えて。



12.8. (ピオトープ)

「水辺の風景」

リング型で焼いた夢米粉のシフォンに、里山で採れたフユイチゴをシロップ煮にしたソースをかけ、ホワイトチョコレートのアキアカネを添えて。



2014.1.12. (兵庫の里山)

「新春の里山」

リング型で焼いた夢米粉のシフォンの穴に、里山で採れた柴栗の渋皮煮のシロップ漬けと黒豆、豆乳生クリームを入れ、柴栗とさつまいも、抹茶のペースとでモンブランに。お正月らしく和テイストに仕上げました。里山の松葉、南天を添えて。

2.9. (熱帯雨林と人々の暮らし)

「コーヒー・ミーツ・
オレンジット」

自家製無農薬みかんを2日かけてオレンジコンフィに。細かく刻んで夢米粉のシフォンに混ぜ込みました。コンフィにチョコをくぐらせたオレンジットを添えて。



3.9. (佐渡の水辺再生)

「さくら舞う水辺」

夢米粉のシフォンを土台に、いちごムース、透明のゼリーを重ね、ピンクのチョコを散らして桜の花びらが舞う春の水辺をイメージしてみました。ピンクのマカロンを添えて。

2014.5.11.

2014 年度

(山のもったいを生かす)

「春の里山～すみれの薫り～」

ほうじ茶を混ぜ込んだ夢米粉のシフォンに、沖縄から届いた黒糖の生クリームをかけました。四国の和三盆をまとった小さなクッキーは、おからと夢米粉で作りました。お口でほろりとほどけた後、ザクザクとした食感に変わる素朴な味わいのお菓子です。



6.8.

(里山の恵みとしてのきのこ)
「きのこの里山」

豆乳と本葛粉のプAMANジェに、沖縄の黒糖で作った黒蜜をかけました。かわいいきのこのメレンゲクッキーと、季節の里山のめぐみ・桑の実を添えて。

7.13. (身近な水辺と生き物) 「初夏の里川」

初夏の里川の風景をイメージした、さわやかなラムネのゼリー。小さなフルーツを小石に見立て、黄桃を型抜きした小さな魚を泳がせています。



9.13. (BDF) 「初秋の里山」

揚げ油がテーマだったので、お月見団子をイメージして揚げ団子をご用意。秋の移ろいを見せ始めた木々に見立てた素揚げのゴボウチップと栗の渋皮煮を添えて。



10.12. (暮坂断層と防災) 「秋の暮坂断層」

カボチャとココア生地のパウンドケーキを重ね、柴栗のクリームを挟みました。上に里山でとれた柴栗の渋皮煮(アールグレイ風味)、柴栗とカボチャの皮のフロランタンを横に添え断層を表現しました。



11.9. (無重力の世界) 「里山と宇宙」

里山に自生する渋柿を使った柿プリンに、半球系に作ったチョコレート被せて惑星に、丸いキャラメルポップコーンを隕石に見立てました。朝採りのフユイチゴを添えて。

2013 年度

	日付	タイトル	講師名	内容
1	4月21日	(ブレSC) 身近な蛍光物質	熊谷 哲 (兵庫県立大教授)	紫外線が出るペンライトで、実際に鉱石等を照射して解説。
2	5月12日	(ブレSC) モリアオガエル	熊谷 哲 (兵庫県立大教授)	里山でも毎年産卵が確認されるモリアオガエルの生態や分布について。
3	6月9日	昆虫の眼から見た世界	黒田 修司 (里山ラボ研究員)	紫外線をカットするレンズを使って撮影した映像を使って解説。
4	9月8日	身近な放射能を測ってみよう	熊谷 哲 (兵庫県立大教授)	放射能についての解説と、実際に測定器を使用した放射線を出す物質の放射能を測定。
5	10月13日	快適な暮らしのための熱環境	土川 忠宏 (兵庫県立大教授)	住環境における熱についてサーキュレーターや簡単な実験を交えて解説
6	11月10日	ジャコウアゲハが飛び交う街づくり	上田 倫範 (元姫路科学館館長)	ジャコウアゲハの生態や、兵庫県における昆虫や植物について。
7	12月8日	都市ですすめるビオトープ作りのねらいと現状	西谷 寛	震災後の神戸でのビオトープ作りと、その成果について解説。
8	1月12日	ひょうごの里山	山瀬敬太郎 (県森林林業技術センター主任研究員)	兵庫県の樹木、および里山を守るための様々な取り組みを解説。
9	2月9日	熱帯雨林と人々の暮らし	原田 一宏 (兵庫県立大准教授)	熱帯雨林とその近隣地域における環境の解説とともに、産地のコーヒー3種を提供。
10	3月30日	佐渡島の水辺再生	豊田 光世 (兵庫県立大講師)	佐渡島加茂湖の再生事業について地域住民や漁師との歩みを解説

2014 年度

1	5月11日	山のもったいを生かす	岡田真美子 (兵庫県立大准教授)	山の「もったい」とは? 自然に対する日本古来の思想について。
2	6月8日	里山の恵みとしてのきのこ	藤堂 千景 (県森林林業技術センター研究員)	きのこの定義・特性、人・里山との繋がりと栽培について解説。きのこの食毒クイズも好評だった。
3	7月13日	身近な水辺と生き物のおはなし	片野 泉 (兵庫県立大准教授)	近隣の河川に住む生き物やその環境、県立大生の取り組みなど。
4	9月13日	BDF〜バイオ・ディーゼル・オイル〜	熊谷 哲 (兵庫県立大教授)	BDFの解説と、化学実験を行って実際に廃油からBDFを作成。
5	10月12日	暮坂断層と地震防災	井口 博夫 (兵庫県立大教授)	近隣の暮坂断層についてや、地震の際の防災に関して詳しく解説
6	11月9日	無重力の世界へご招待	河南 治 (兵庫県立大准教授)	宇宙ステーションでの生活や無重力実験の映像を見ながら解説。
7	12月7日	放射能と除染	西岡 洋 (兵庫県立大准教授)	
8	1月11日	ジオパークへ行こう	先山 徹 (兵庫県立大教授)	

はりま里山研究所の Science Cafe

環境や科学に関する教授や研究者などの専門の講師のお話を身近に聞ける、アットホームな雰囲気での学習会。コーヒーと手づくりのお菓子を召し上がりながらの、講師や参加者とのディスカッションも魅力です。

毎月第2日曜 (2015年度は隔月開催)
13:00~15:00 予約制先着順
参加費: 500円 (お菓子・ドリンクつき)
お申し込み ☎ info@satoyama-lab.org